

## 不思議できれいな数学アート 敷きつめ塗り絵

「敷きつめ」とは、同じかたちで隙間なく埋めること。古代エジプトでは、巨大な石を敷きつめてピラミッドが建立された。現代でも、舗道や建物のタイルなど、私たちの身近なところに敷きつめ模様を見つけることができる。本書では正三角形、正四角形といった基本形から、それらを組み合わせたたり、応用したりしたユニークな模様まで、敷きつめアートのオリジナル塗り絵を収録する。敷きつめられた図形を思い思いに塗り分けることで、さまざまなかたちが浮かび上がってくる。

## 「かたちの不思議」を体感しよう

イスラムの美しいタイル・パターン、「アルキメデスのタイル張り」、72度と36度のひし形をある条件のもとで組み合わせると数学の「非周期的」と呼ばれる敷き詰めができるという「ペンローズ・タイル」。4色で地図を塗り分ける…古代ギリシャの時代から現代まで、数学者たちが敷きつめの疑問に取り組んできた。自由なアイデアで塗ってみたりしながら「かたちの不思議」を体感できる。なお「敷きつめ」は新学習指導要領の小学校算数でも取り入れられている。



藤田伸／著  
東京堂出版

A4 変型判 128頁  
本体1400円＋税